

地質ニュース

第537号 1999年5月

口 絵

GPRによる露頭観察	倉本 真一
レーダ探査による河床部探査実験	利岡 徹馬
考古学および雪氷学における地中レーダ探査法	酒井 英男
ボアホールレーダ	佐藤 源之

特集：GPR (地中レーダ) [1]

GPRを用いた地下イメージング研究 -特集号概略-	倉本 真一	6
土木地質調査におけるGPRの適用例	笠井 弘幸・西山英一郎・鈴木 敬一	8
考古学および雪氷学における地中レーダ探査法	酒井 英男・田中 謙次・Dean Goodman	16
レーダ探査による河床部探査実験	利岡 徹馬	24
ボアホールレーダ	佐藤 源之	29
第5回 地下電磁計測ワークショップ 論文募集		36
表層地盤構造の再現性 -高分解能S波反射法探査と地中レーダ探査の比較-	稲崎 富士・加野 直巳・倉本 真一	37
ステップ式連続波レーダ探査装置を用いた地中レーダ探査	鈴木 敬一・笠井 弘幸・西山英一郎	44
GPRにおけるデータ処理法	西山英一郎・鈴木 敬一・笠井 弘幸	53
岩石の種類・間隙率・含水比と電気特性の関係	鈴木 敬一・笠井 弘幸・西山英一郎	61

最新地質図発表会	23
編集後記	68

表 紙

活断層の三次元地中レーダ探査：山形県の庄内堆積盆地東縁に位置する逆断層・褶曲帯のうち、観音寺断層をターゲットとして三次元地中レーダ調査を行った。この断層は断層変位地形が明らかで、かつこれまでにトレンチ調査やボーリング調査で活断層の存在が明らかになっている。レーダ探査の測線はトレンチ、ボーリング調査を行った地点に近接したところで、東西50mの測線を南北に1m間隔で21測線を展開した。測線方向には0.5m間隔で反射データを取得した。三次元マイグレーション処理により断層変位のイメージングが可能になった。また三次元データは、水平スライス断面の作成やあらゆる角度での断面の作成を可能にする。

(画像と文：倉本真一)

通商産業省 地質調査所
工業技術院

☎305-8567 茨城県つくば市東1-1-3

Tel. 0298-54-3520, Fax. 0298-54-3504

Geological Survey of Japan

<http://www.gsj.go.jp/HomePageJP.html>